

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 6 巻第 41 号

第 41 週( 10月 9日 ~ 10月 15日)

発行年月日:平成18年(2006年) 10月 20日

発行 :滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

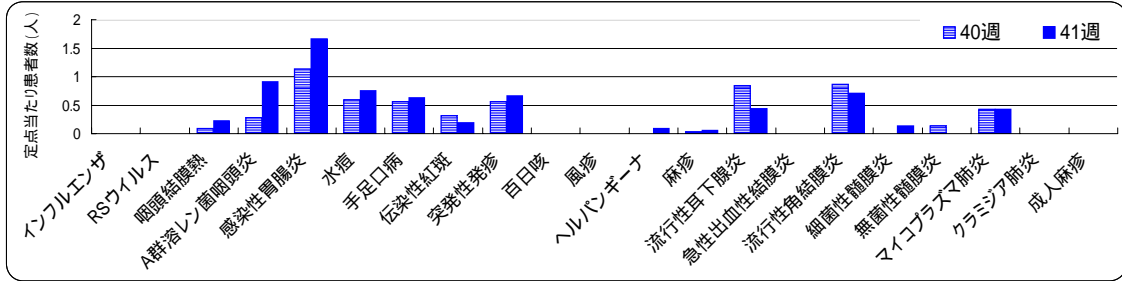
### 今週の感染症発生動向

#### 麻疹が2週連続して発生!

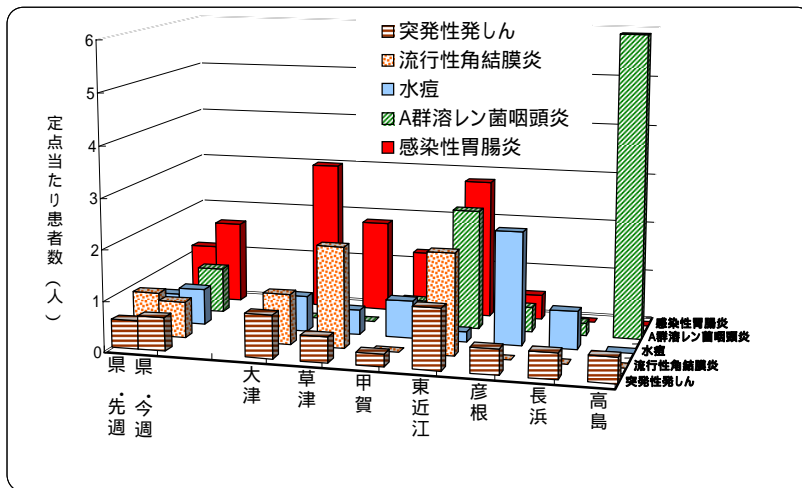
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週(10月2日~10月8日)の報告数よりかなり増加しています。増加した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、麻疹等で、麻疹については彦根保健所管内から2週連続して報告されています。また、減少した疾患は伝染性紅斑(リンゴ病)、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

全数把握対象疾患では、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



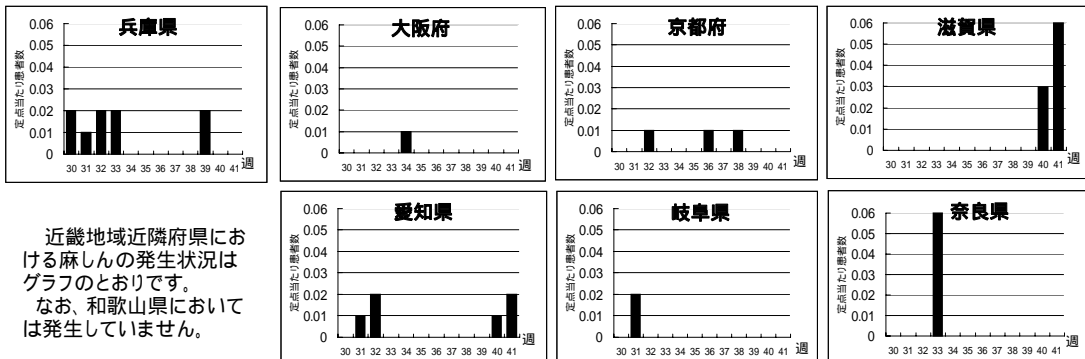
上位5疾患の保健所管内別発生状況(定点把握対象五類感染症、第41週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおりで、感染性胃腸炎、A群溶レン菌咽頭炎、水痘、流行性角結膜炎、突発性発疹の順に多くなっています。

感染性胃腸炎は大津、草津および東近江で、A群溶レン菌は東近江および高島で多くなっています。また、水痘は彦根で多くなっています。

近畿地域近隣府県における麻疹の発生状況(平成18年第30~41週、H18.7.24~H18.10.15)



近畿地域近隣府県における麻疹の発生状況はグラフのとおりです。なお、和歌山県においては発生していません。

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき、医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (41週)	累積報告数		平成17年報告数	
			滋賀 (41週)	全国 (41週)	滋賀	全国 <sup>(*)1</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	1	44	0	54
	細菌性赤痢	0	<sup>(*)2</sup> 6	398	<sup>(*)3</sup> 7	556
三類感染症	腸チフス	0	0	60	0	50
	腸管出血性大腸菌感染症	1	42	3,286	12	3,567
四類感染症	E型肝炎	0	1	56	0	40
	A型肝炎	0	21	288	1	168
	オウム病	0	0	18	1	34
	デング熱	0	0	43	1	73
	マラリア	0	0	51	0	66
	レジオネラ症	0	11	395	3	276
五類感染症	アメーバ赤痢	0	7	587	5	680
	ウイルス性肝炎	0	0	222	2	277
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	134	2	147
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	4	90	0	60
	後天性免疫不全症候群	0	7	1,028	7	1,161
	ジアルジア症	0	1	69	0	81
	梅毒	0	3	481	0	555
	破傷風	0	0	94	0	114
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	57	2	65
	急性脳炎	0	1	131	2	180

\*1:平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\*2:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

\*3:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分3件を含みます。

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第41週(10/9～10/15) -

一類感染症: 報告なし	二類感染症: 細菌性赤痢 6例	三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 59例	四類感染症: レジオネラ症 6例 オウム病 1例 日本脳炎 2例	五類感染症: ウイルス性肝炎 6例 後天性免疫不全症候群 15例 クロイツフェルト・ヤコブ病 2例 クリプトスポリジウム症 1例 急性脳炎 1例 バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例
四類感染症: A型肝炎 1例 デング熱 1例 マラリア 2例	五類感染症: アメーバ赤痢 4例 梅毒 5例 ジアルジア症 2例 破傷風 4例			

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点\*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。\*疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(第36～41週、9/4～10/15)

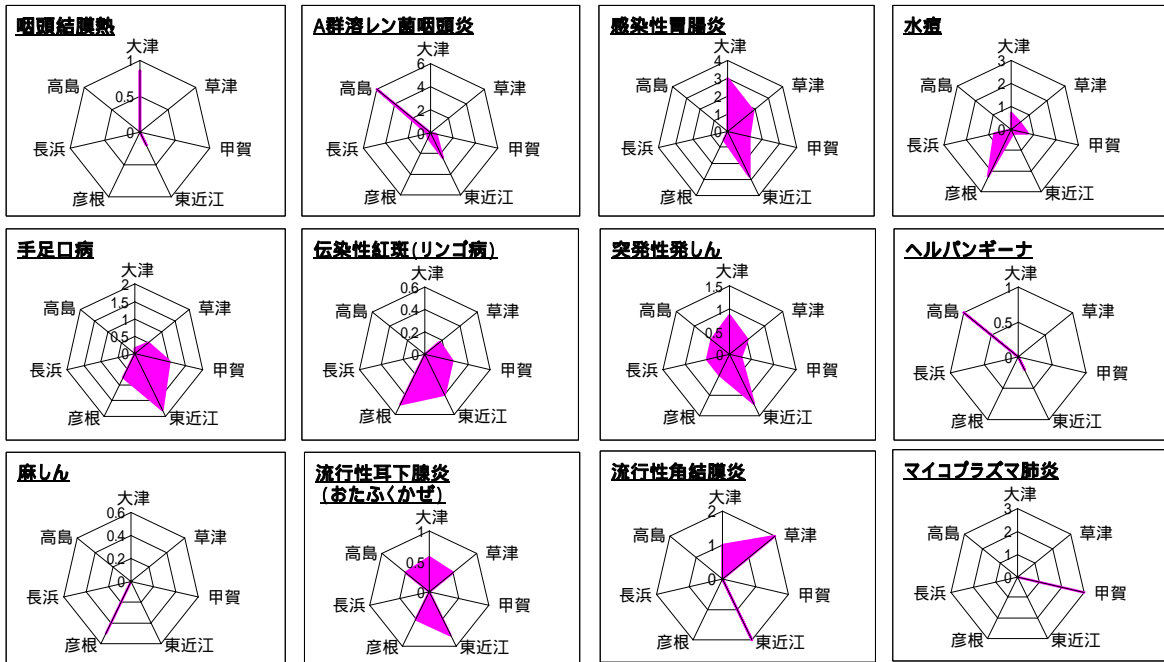
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	36週		37週		38週		39週		40週		41週	
	(9/4～)	(9/11～)	(9/18～)	(9/25～)	(10/2～)	(10/9～)	37	38	39	40	41	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0						
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	0.75	0.34	0.22	0.23	0.09	0.22						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.31	0.19	0.25	0.39	0.28	0.91						
感染性胃腸炎	0.88	1.09	0.81	1.35	1.13	1.66						
水痘	0.41	0.34	0.50	0.32	0.59	0.75						
手足口病	1.13	1.16	1.72	1.35	0.56	0.63						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.44	0.25	0.19	0.19	0.31	0.19						
突発性発しん	0.41	0.47	0.19	0.52	0.56	0.66						
百日咳	0	0	0	0	0	0						
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	0.34	0.25	0.03	0.03	0	0.09						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0.03	0.06						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.41	0.50	0.22	0.52	0.84	0.44						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.86	0.43	0.29	0.33	0.86	0.71						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.14						
無菌性髄膜炎	0.29	0	0	0.14	0.14	0						
マイコプラズマ肺炎	0.86	0	0.14	0	0.43	0.43						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第41週, 10/9~10/15)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)		
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0			
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0			
咽頭結膜熱	0.22	0.86	0	0	0.20	0	0	0	■		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.91	0	0	0.50	2.40	0.50	0.25	6.00	■	■	■
感染性胃腸炎	1.66	3.00	1.83	1.25	2.80	0.50	0	0	■	■	■
水痘	0.75	0.71	0.50	0.75	0.20	2.25	0.75	0	■	■	■
手足口病	0.63	0.14	0.50	1.00	1.80	0.75	0	0	■	■	■
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.19	0	0.17	0.25	0.40	0.50	0	0	■		
突発性発しん	0.66	0.86	0.50	0.25	1.20	0.50	0.50	0.50	■	■	■
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0			
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0			
ヘルパンギーナ	0.09	0	0	0	0.20	0	0	1.00	■		
麻しん(成人麻しんを除く)	0.06	0	0	0	0	0.50	0	0	■		
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.44	0.57	0.50	0	0.80	0.50	0	0.50	■		
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
流行性角結膜炎	0.71	1.00	2.00	0	2.00	0	0	0	■	■	■
細菌性髄膜炎	0.14	0	0	1.00	0	0	0	0	■		
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
マイコプラズマ肺炎	0.43	0	0	3.00	0	0	0	0	■		
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0			

■ は定点当たり患者数が先週より増加、■ は定点当たり患者数が非常に多い状態  
0 0.5 1 1.5 2  
定点当たり患者数(人)

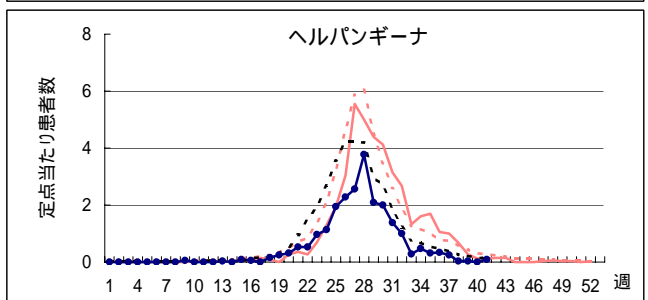
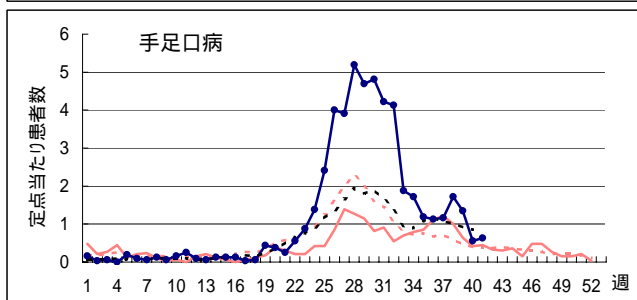
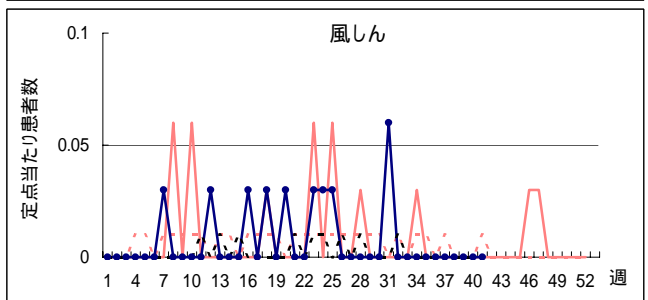
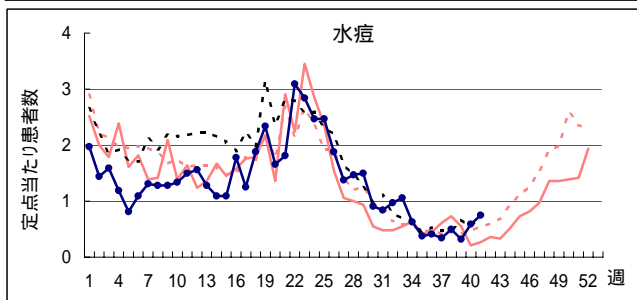
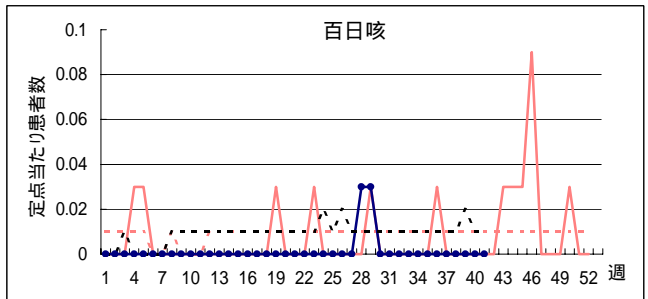
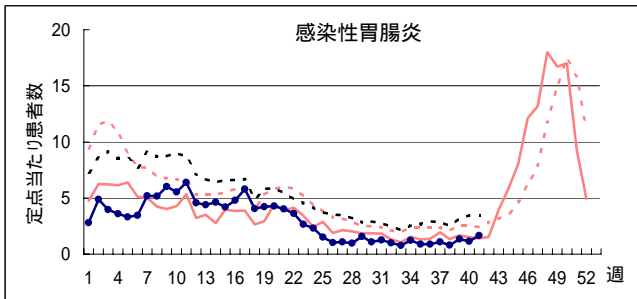
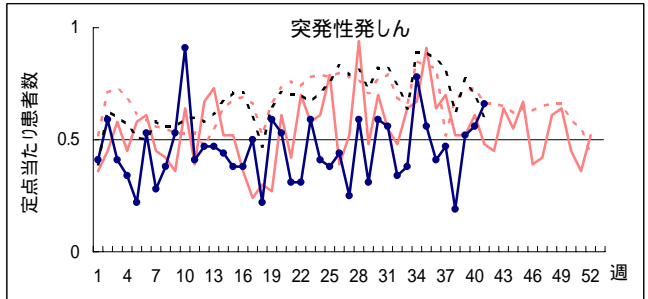
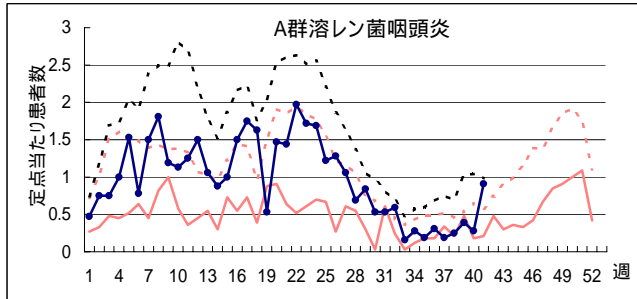
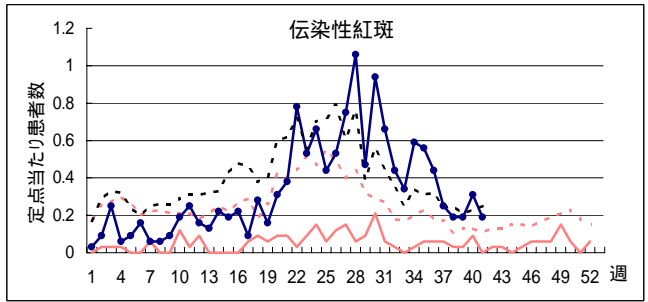
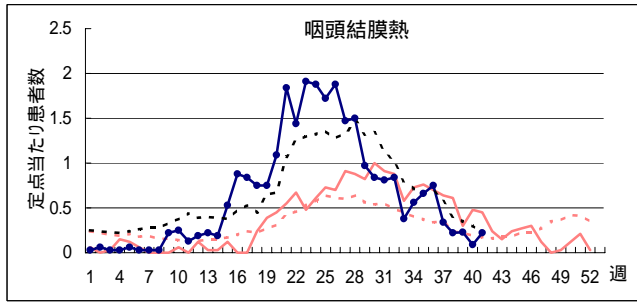
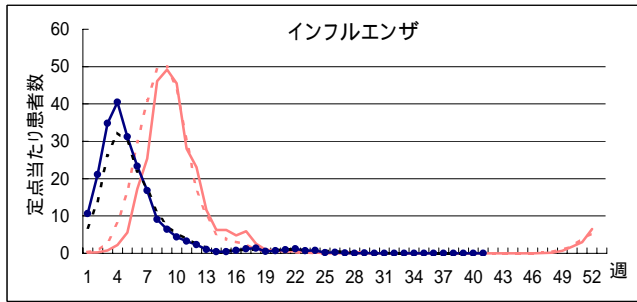
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：保健所管内別定点当たり患者数

- 咽頭結膜熱-----大津からの報告が先週よりやや多くなり、県全体では微増となっています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎----東近江および高島で急増し、特に高島の定点当たり患者数は6.00と非常に多くなっています。
- 感染性胃腸炎-----大津、草津、甲賀および東近江で先週より増加しています。
- 水痘-----長浜では先週より減少していますが、彦根では定点当たり患者数が2.25とやや多くなっています。
- 手足口病-----甲賀および東近江で先週より増加していますが、その他の保健所管内では先週より減少しています。
- 伝染性紅斑-----彦根で先週よりかなり少なくなり、県全体では減少しています。
- 突発性発しん-----大津、草津および東近江で先週のほぼ倍増となっています。
- ヘルパンギーナ-----東近江および高島からの報告のみで、昨年とほぼ同様の発生状況です。
- 麻しん-----先週と同様に彦根から報告されています。
- 流行性耳下腺炎-----東近江および長浜では先週と同じですが、それ以外では減少しています。
- 流行性角結膜炎-----大津、草津および東近江から報告されています。
- 細菌性髄膜炎-----甲賀から報告されています。
- マイコプラズマ肺炎-----甲賀から報告されています。

# 疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第41週、H18.1.2～H18.10.15)



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第41週、H18.1.2～H18.10.15)

H17 { 滋賀 ————  
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●  
全国 - - - - -

